



名誉会員委嘱書交付

名誉会員 **さいたま市長 清水 勇人様**
(代理出席 市長特別秘書 **吉田 太様**)



市長 **清水 勇人様**のご挨拶を **吉田 太様**が代読

本日は、大宮西ロータリークラブの初例会が、ご関係の皆様のご努力により、このように盛大に開催されますことを、心からお祝い申し上げます。

藤嶋前会長をはじめ、小林会長、ロータリアンの皆様には、日頃よりさまざまな奉仕活動を通じて、地域社会、国際社会の発展にご尽力いただいておりますことに、深く敬意を表します。

さて、昨年さいたま市は、政令指定都市へ移行して20周年の節目の年を迎えました。合併当時は103万人であった人口も135万人に迫り、今や「東日本を連結する対流拠点」にふさわしい、持続的に成長・発展し続ける大都市となりました。

最新の市民意識調査では、「住みやすい」「住み続けたい」という方の割合がともに85%を超え、「住みたい街」「幸福度」などの民間によるランキング調査でも上位定着の高評価が続いております。

大宮に目を向けますと、先日発表された「SUUMO住みたい街ランキング2024 首都圏版」では過去最高の2位を獲得し、市内外の皆様に「住みやすいまち」という認識が定着してきたものと考えております。去る3月16日には、北陸新幹線の金沢～敦賀間が延伸開業し、大宮駅周辺の市街地整備が進むなど、さらなるまちの活性化が期待されます。

本市が住むことを誇りに思える都市として、また、政令指定都市として今日の発展に至りましたのも、長きにわたり奉仕活動を続け、地域の安心安全、青少年の健やかな成長を支えていただいているご参会の皆様をはじめ、多くの方々の日々のご尽力によるものであります。心から感謝申し上げます。

今後も、「市民一人ひとりがしあわせを実感できる絆であふれるさいたま市」「誰もが住んでいることを誇りに思えるさいたま市」の実現を目指して、市民の皆様と手を携えて全力で取り組んでまいりますので、皆様のお力添えをお願い申し上げます。

結びに、大宮西ロータリークラブの益々のご発展と、御参会の皆様のご活躍とご健勝をお祈り申し上げ、私からの挨拶とさせていただきます。

お客様ご挨拶

■第2770地区第4グループ
ガバナー補佐
原田 晃博様



米山記念奨学金支給及び近況報告

■米山記念奨学委員会 副委員長
島袋 祥子より
2024 学年度米山記念奨学生
金 亮希さんに支給



委員長報告・派遣役員報告

■パスト会長 **小沢 孝**
グローバル補助金について。オーストラリアへの森林火災対策支援のプロジェクトになります。事業継続中です。6/20(木)にZoomでオンライン会議をしました。



■親睦交流委員会 委員長
平野 友紀

7/29(月)は、新入会員歓迎・納涼夜間移動例会です。ぜひご出席ください。



部門別委員会方針

ラーニングファシリテーター

伊田 雄二郎

ラーニングとは「学び」ファシリテーターとは「会議や議論の場で参加者の発言を促し結論を良い報告に導く役割」です。何を学ぶか?は、小林会長からの「新人にロータリーの基礎と楽しさを教えてほしい」との要望に沿って行きます。日にちは8月26日例会後開催します。私の外に6名のパスト会長にお手伝いを頂きます。

対象の方は是非ご参加ください。



管理運営担当理事

関根 正也

クラブの基本方針に基づき、当クラブの課題である「例会出席率の向上」に向け、会員の皆さんが例会に出席したくなる企画、環境づくりをして参りたいと考えております。

特に夜間例会、親睦旅行等に参加頂ける会員は、当然例会にも100%に近い出席を頂いております。本年度は再度、「なぜ例会出席されないのか」理由を把握し、「例会卓話」「夜間親睦例会」「親睦旅行」の企画を見直し、「出席したくなる例会」「参加したくなる行事」を企画して参ります。

本年度の委員編成は「貴方がいないと回らない委員の構成」であるため、部門の委員全員が一致協力し、例会運・親睦行事の運営をして参ります。



プログラム委員会

土屋 隆弘 (代理 **川崎 春夫** 会員)

土屋委員長に代わり方針を発表します。小林年度、プログラム委員会の事業計画基本方針は、小林会長